

目次

あいさつ	1
沿革	2
平成20年度主要記事	4
展示事業	
アート・コレクション展	6
「藤田鳴鶴の日本・ガラスの歴史と文化」	13
第32回+	15
普及事業	
「藤田鳴鶴展」関連事業	18
ワークショップ	19
その他の事業	20
美術館講座・鑑賞講座・美術館情報	
MUSEUM OF ART トガイド	
情報資料室	21
活動協力	21
博物館実習・美術館友の会・ボランティア・寄託品の貸出	
調査・収蔵活動	
貸出資料一覧	26
収蔵資料数一覧	29
平成20年度収蔵資料一覧	30
寄託調査・借出	
組織	32
平成20年度要約	33
利用状況	34
展示室利用関係	35
施設	37
利用案内	42

平成
20

CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART
千葉県立美術館 年報 No.35

April 2008— March2009

ANNUAL BULLETIN OF

CHIBA PREFECTURAL

MUSEUM OF ART



RECEIVED - 1905

NOV 11 1905

LIBRARY

OF THE

目 次

あいさつ.....	1
沿革	2
平成 20 年度主要記事.....	4
展示事業	
アート・コレクション展	6
「藤田喬平展」ガラスの光彩ー伝統と創造ー.....	13
第 32 回千葉県移動美術館.....	15
普及事業	
「藤田喬平展」関連事業	18
ワークショップ.....	19
その他の事業	20
美術館講座・実技講座・美術館体験学習・教師のためのアートガイダンス	
情報資料室	21
活動協力	21
博物館実習・美術館友の会・ボランティア・複製画の貸出	
調査・収集活動	
貸出資料一覧	26
収蔵資料数一覧	29
平成 20 年度収蔵資料一覧.....	30
管理運営・使命	
組織	32
平成 20 年度職員	33
利用状況	34
展示室利用団体.....	35
施設	37
利用案内	42

あ い さ つ

平成20年度の千葉県立美術館における活動の実績を年報としてまとめました。

本館は昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様のさまざまな美術に対する要望にお応えできるよう努めてまいりました。

平成20年度の展覧会では、企画展として「藤田喬平展 ガラスの光彩－伝統と創造－」を開催し、好評を博しました。また、32回目となる移動美術館については、市原市五井会館を会場に実施しました。

本館が収蔵する作品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品による「アートコレクション展」を年間を通して開催しました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会を開催し、さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを開催しました。また、県民の皆様の美術創作への意欲にお応えできるよう美術の各分野にわたる実技講座も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をいただきますようお願いいたします。

平成21年 7月

千葉県立美術館長

大 熊 一 行

■ 沿革

1969年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）	その師弟展」を開催
1970年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	1976年6月7日 寄付によって、正面玄関植栽
1970年7月24日	建設地として千葉公園に内定	1977年3月12日 彫刻の野外展示開始
1970年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）	1977年4月10日 展示棟の一室に美術普及室を開設
1971年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	1978年1月18日 外構工事として、駐車場拡張（97台）
1971年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	1978年2月21日 美術普及棟の準備会発足
1972年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	1978年10月17日 美術普及棟建築予算を計上
1972年3月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）	1978年11月18日 浅井忠像完成除幕式
1972年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	1978年11月30日 美術普及棟実施設計完了
1972年9月21日	展示棟杭打工事着工	1979年1月8日 美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
1972年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	1979年3月5日 県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
1972年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社 竹中工務店）	1979年3月22日 県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
1973年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	1980年2月29日 県民アトリエ棟竣工
1973年11月30日	管理棟（第2期工事）の実施設計完了	1980年3月16日 県民アトリエ棟完成記念講演会
1974年3月31日	展示棟竣工	1980年4月1日 千葉県美術品取得基金条例施行
1974年4月1日	千葉県立美術館発足（職員14名）	1980年9月9日 県民アトリエ棟情報資料室開設
1974年10月23日	開館記念式典開催	1983年7月29日 美術普及コーナー開設
1974年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始	1983年11月12日 開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
1975年2月21日	管理棟杭打工事着工	1986年3月25日 展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
1975年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	1986年4月10日 入口門扉4ヶ所設置
1975年3月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社 竹中工務店）	1986年4月23日 美術館西側沿道寄り生垣植栽
1976年2月20日	管理棟竣工	1986年8月12日 講堂浸水防止工事完了
1976年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠と	1987年3月25日 機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
		1987年10月15日 展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
		1988年5月20日 受水槽設備改修工事（地上式）着工
		1988年8月31日 受水槽設備改修工事（地上式）完了
		1988年8月31日 展示棟（第8展示室）、収蔵庫（第3、4室）、機械室増築工事完了
		1989年2月28日 増築展示棟周辺芝張り工事完了

1989年 4月 1日	普及課が新設され、3課で業務実施	2005年 8月20日	空調用インバータ装置改修工事完了
1989年 4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催	2006年 3月21日	電話装置改修工事完了
1989年 9月11日	空調機改修工事実施設計完了	2006年 3月31日	アトリエ棟空調機修繕工事完了
1990年 6月 8日	空調機改修工事完了	2006年 3月31日	(財)千葉県社会教育施設管理財団への運営委託終了
1990年 9月29日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事着工	2009年3月31日	空調設備修繕工事完了
1990年11月 7日	室内標識改修工事着工		
1991年 1月31日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事完了		
1991年 2月20日	室内標識改修工事完了		
1991年12月 6日	空調用ポンプ改修工事完了		
1992年 4月 1日	運営の一部が(財)千葉県社会教育施設管理財団へ委託		
1992年10月20日	温湿度記録装置改修工事完了		
1992年12月18日	食堂改修工事完了		
1994年 7月23日	開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催		
1998年 2月23日	ガス設備改修工事完了		
1998年12月24日	空調設備改修工事完了		
1999年 6月 5日	開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催		
2000年 3月30日	屋根材剥落補修工事完了 点字ブロック設置工事完了		
2000年 7月31日	文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託		
2001年 3月29日	屋根材剥落補修工事(第7展示室)完了		
2002年 3月25日	屋根材剥落補修工事(第6展示室)完了		
2002年 3月25日	非常灯用直流電源装置改修工事完了		
2002年 3月25日	防犯カメラ改修工事完了		
2002年12月20日	直流電源装置蓄電池改修工事完了		
2003年 3月25日	空調設備改修工事実施設計完了		
2003年 7月10日	空調設備改修工事完了		
2004年 4月18日	来館者500万人達成		
2004年11月27日	開館30周年記念企画展「漁民を描く-渡辺學の世界」開催		

■平成20年度主要記事

- 4月1日 アート・コレクション「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」(～10/5)
- 4月8日 アート・コレクション「新収蔵作品展」(～6/8)
- 4月15日 アート・コレクション「堀江正章と旧制千葉中学校の教え子たち」(～5/6)
- 4月15日 アート・コレクション「山室百世」(～5/25)
- 4月24日 実技講座「陶芸講座(応用)」(～5/22 日数6日間)
- 4月26日 アート・コレクション「石井林響」(～5/25)
- 5月8日 アート・コレクション「浜口陽三」(～6/8)
- 5月10日 第1回ワークショップ「ビッグ・ペイントあーと」
- 5月27日 アート・コレクション「富取風堂 本画と下絵」(～6/29)
- 5月29日 実技講座「陶芸講座(基礎)」(～6/26 日数6日間)
- 5月31日 アート・コレクション「千葉の陶芸」(～8/10)
- 6月10日 アート・コレクション「中西利雄と小堀進」(～7/13)
- 6月14日 アート・コレクション「デッサン」(～8/10)
- 6月14日 第2回ワークショップ「県民の日・エンジョイあーと」
- 7月1日 アート・コレクション「前衛の書」(～8/10)
- 7月5日 第3回ワークショップ「墨いろで・あーと」
- 7月15日 アート・コレクション「瑛九の版画」(～8/24)
- 7月16日 実技講座「銅版画講座」(～7/25 日数6日間)
- 7月26日 高校生によるサマーコンサート
- 8月6日 博物館実習(～8/11)
- 8月7日 「教師のためのアートガイダンス」
- 8月12日 アート・コレクション「香取秀真の金工と書」(～10/5)
- 8月16日 アート・コレクション「県展史の人々」(～10/5)
- 8月16日 ホリデーアート「木版画講座」(～8/17 日数2日間)
- 8月26日 アート・コレクション「酒井亜人」(～10/5)
- 10月4日 第3回ワークショップ「モノレールさんぽで・あーと」
- 11月22日 アート・コレクション「椿 貞雄」(～12/14)
- 11月22日 アート・コレクション「横尾芳月」(～12/14)
- 11月22日 アート・コレクション「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」(～1/11)
- 11月22日 アート・コレクション「こどものための展覧会ー海の風景ー」(～1/11)
- 11月22日 アート・コレクション「金工の世界」(～1/11)
- 12月6日 第32回千葉県移動美術館(市原市五井会館)(～12/17)
- 12月6日 第5回ワークショップ「その場で・あーと」
- 12月16日 関東博物館協会共同企画「県立美術館干支コレクション」(～1/11)
- 1月10日 第6回ワークショップ「針金で・あーと」
- 1月14日 アートコレクション「房総を描く」(～1/25)
- 1月17日 企画展「藤田喬平展」(～2/22)
- 1月17日 企画展「藤田喬平展」関連事業 ギャラリートーク ①
- 1月20日 実技講座「金工講座」(～2月6日 日数10日間)
- 1月31日 企画展「藤田喬平展」関連事業 美術講演会「藤田喬平の魅力ーその本質を探る」
- 2月3日 第7回ワークショップ企画展スペシャル「ガラスで・あーと」
- 2月7日 企画展「藤田喬平展」関連事業 ギャラリートーク ②
- 2月7日 企画展関連事業「ミュージアムコンサート」
- 2月10日 実技講座「篆刻講座」(～2/27 日数6日間)
- 2月21日 第8回ワークショップ企画展スペシャル「きらめき・あーと」
- 2月28日 アート・コレクション アート・セレクション「コレクション50」より日本画・工芸(～4/5)
- 2月28日 アート・コレクション アート・セレクション「コレクション50」より洋画(～4/12)
- 2月28日 アート・コレクション「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」(～4/5)
- 2月28日 アート・コレクション「木と漆」(～4/26)
- 3月20日 アート・コレクション「書之美」(～5/6)

□ 展 示 事 業 □

【第1展示室】〈小展示コーナー〉

「堀江正章と旧制千葉中学校の教え子たち」

会期 平成20年4月15日(火)～5月6日(日)

点数 15点

20日間

1	堀江正章	耕地整理図	1901～02頃
2	〃	西村房太郎像	1926～30頃
3	〃	西村房太郎氏祖母像	〃
4	〃	鶴岡常太郎像	不詳
5	青木滋芳	早瀬	1971頃
6	浅井 真	梅林	1948
7	石井林響	葦と白鳥	不詳
8	〃	寒山拾得	不詳
9	板倉 鼎	静物	1927
10	遠藤健郎	朝市	1975
11	大野隆徳	北京・北海の春	1938
12	国松伽耶	魚	1954
13	菅谷元三郎	裸婦	1928頃
14	柳 敬助	婦人像	不詳
15	和田 清	赤灯台のある風景	不詳

「山室百世」

会期 平成20年4月15日(火)～5月25日(日)

点数 6点

36日間

1	山室百世	鍍銅萌ゆる力置物	1940
2	〃	鍍銀小鳥のささやき	1943
3	〃	鍍銅月明に善を聞く	1952
4	〃	鍍銅想念置物	1953
5	〃	鍍銅芽花瓶	1955
6	〃	鍍銅第三の指向花器	1958
7	〃	鍍銅遍路置物	1961
8	〃	鍍銀粧える鳥置物	1964
9	〃	鍍銀月明置物	1964

「浜口陽三」

会期 平成20年5月8日(木)～6月8日(日)

点数 17点

28日間

1	浜口陽三	西瓜	1981
2	〃	緑の毛糸	1981
3	〃	ロビーナのさくらんぼ	1981
4	〃	ロビーナのさくらんぼ(7枚組)	1981
5	〃	ロビーナのさくらんぼ(15枚組)	1981
6	〃	びんとレモンと赤い壁	1981～89頃
7	〃	暗い背景のびんと黄色い壁	1981～89頃
8	〃	赤い蝶	1981
9	〃	青い蝶(7枚組)	1982
10	〃	青い蝶(15枚組)	1982
11	〃	てんとう虫	1984
12	〃	てんとう虫(7枚組)	1984
13	〃	てんとう虫(15枚組)	1984
14	〃	3匹の蝶	1985
15	〃	3匹の蝶(7枚組)	1985
16	〃	3匹の蝶(15枚組)	1985
17	〃	緑のボブラ	1985～89頃

「富取風堂 本画と下絵」

会期 平成20年5月27日(火)～6月29日(日)

点数 7点

30日間

1	富取風堂	游鯉(其一)(其二)	1928
2	〃	漁村の初夏	1942
3	〃	仔馬	1944
4	〃	暮色	1962
5	〃	親子猿	1964
6	〃	初夏	1972
7	〃	うすれ陽	1975

「中西利雄と小堀進」

会期 平成20年6月10日(火)～7月13日(日)

点数 11点

30日間

1	中西利雄	南仏風景	1930
2	〃	人物	1936
3	〃	外房風景	1936
4	〃	曇り日の離宮と駅	1947
5	小堀 進	漁村	1937
6	〃	海(白浜)	1954
7	〃	レマン湖畔	1962
8	〃	南欧の丘	1962
9	〃	山	1965
10	〃	霞ヶ浦	1973
11	〃	花と海	1974

「前衛の書」

会期 平成20年7月1日(火)～8月10日(日)

点数 5点

36日間

1	小川瓦木	侃のイメージ	1963
2	〃	古代人からのメッセージ 8	1997
3	大野虚舟	阿吽	1985
4	〃	子供の情景—記号探しのパズル—	1985
5	〃	天霊地気一膳	1992

「瑛九の版画」

会期 平成20年7月15日(火)～8月24日(日)

点数 20点

36日間

銅版画集3「雲の花」

1	〃	1 散歩A	1952
2	〃	2 オペラグラス	1953
3	〃	3 海底	1953
4	〃	4 ポエム	1953
5	〃	5 音楽	1953
6	〃	6 魚	1954
7	〃	7 白い角	1954
8	〃	8 鳥の踊り	1955
9	〃	9 緑	1956
10	〃	10 雲の花B	1958

銅版画集5「風車」

11	〃	1 あこがれ	1954
12	〃	2 メガフォン	1955
13	〃	3 愛する二人	1955
14	〃	4 顔A	1955
15	〃	5 指の目	1955
16	〃	6 誘惑	1955
17	〃	7 白さぎ	1955
18	〃	8 風車	1957
19	〃	9 かべ	1957
20	〃	10 風景A	1957

「香取秀真の金工と書」

会期 平成20年8月12日(火)～10月5日(日)

点数 7点 48日間

1	香取秀真	瑞鳥飾三足鑑	不詳
2	〃	菊文釜	不詳
3	〃	鍔鉄茶釜	不詳
4	〃	鶴文鉄釜	不詳
5	〃	千本松文釜	不詳
6	〃	笑獅子香炉	不詳
7	〃	片貝浜の歌	1942
8	〃	日のいづる...	不詳
9	〃	如月之...	不詳
10	〃	鎌倉の歌	1950

「酒井亜人」

会期 平成20年8月26日(火)～10月5日(月)

点数 6点 36日間

1	酒井亜人	冬	1937
2	〃	垣根	1950
3	〃	山	1951
4	〃	晩秋	1952
5	〃	茶室	1953
6	〃	樹	1955

「椿 貞雄」

会期 平成20年11月22日(土)～12月14日(日)

点数 12点 37日間

1	椿 貞雄	自画像	1915
2	〃	八重子像	1918
3	〃	垣根のある風景	1919
4	〃	牡丹	1920
5	〃	横堀角次郎兄像	1921
6	〃	夏之路傍	1921
7	〃	夏の風景	1928
8	〃	アンドレ裸体	1932
9	〃	岩	1936
10	〃	黒壺に椿一輪	1948
11	〃	鋸山から見た房総半島	1948
12	〃	老政治家の像	1953

「横尾芳月」

会期 平成20年11月22日(土)～12月14日(日)

点数 5点 20日間

1	横尾芳月	いで湯	1980
2	〃	澄み心	1980
3	〃	夕粧	1981
4	〃	春風	1986
5	〃	新春	不詳

【第2展示室】

「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期 平成20年4月1日(火)～20年10月5日(日)

点数 19点 162日間

1	浅井 忠	薬屋根	1887頃
2	浅井 忠	小丹波村	1893
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901

関東地区博物館協会共同企画事業

「新春七福館干支めぐり」

県立美術館 干支コレクション

会期 平成20年12月16日(土)

～平成21年1月11日(日)
17日間

1	石井林響	ねずみ	1924
2	根箭忠録	牛	不詳
3	山室百世	鍔銀小鳥のささやき	1943
4	松尾敏男	原野	1971
5	杉原笛邦	水辺	1964
6	石川 響	化石の渚	1975
7	小宮山俊	沙羅の樹の下	1981
8	岩崎巴人	闘う牛	1969
9	鶴田吾郎	蒙古の女	1937
10	伊藤順一	里	1992
11	フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865頃
12	浅井 忠	虎図	1902～07頃
13	津田信夫	兎	不詳
14	香取秀真	龍	1937
15	信田 洋	銀瓶(マーキュリー)	1978
16	富取風堂	厩舎	1938
17	石井林響	蘇武	不詳
18	津田信夫	胡孫遊目	1935
19	浅井 忠	菓子器	1897
20	浅井 忠	盗賊	1902～07頃
21	高村光太郎	猪	1905

「アート・セレクション

コレクション50より」

会期 平成21年2月28日(火)～4月12日(日)

点数 18点 洋画38日間、日工32日間

ただし、日本画・工芸は4月5日(日)までの開催。

1	石井柏亭	晩春行楽図	1938
2	石橋武治	筑波遠望	1953
3	板倉 鼎	金魚	1928
4	梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
5	小堀 進	逆光	1938
6	都鳥英喜	洛北の早春	1934
7	原 勝郎	モンマルトル	1935
8	不破 章	二女	1953
9	堀江正章	耕地整理図	1902
10	安井曾太郎	熱海附近	1929
11	関 主税	晨	1984
12	時田直善	崖の観音	1943
13	富取風堂	朝光	1953
14	東山魁夷	春雪	1973
15	津田信夫	一點玲瓏	1917
16	信田 洋	透壺	1928
17	藤田喬平	飾篋・しだれ櫻	1985
18	宮之原謙	陶器葡萄彫文壺	1929

平成20年度 アート・コレクション展

4	浅井 忠	老母像	1906
5	アントニオ・フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
6	アントニオ・フォンタネージ	牛を追う農婦	不詳
7	アントニオ・フォンタネージ	森の空き地の農婦	不詳
8	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレステル風景(沼)	不詳
9	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	フォンテンブローの風景	(4/1~5/25) 1830~35頃
10	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	フォンテンブローの石切場	1935~40
11	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	ナポリ近郊の思い出	(5/27~10/5) 1960~65
12	テオドール・ルソー	バルビゾンの農場	1850~55頃
13	ジャン・フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
14	シャルル・フランソワ・ドービニー	ヴァルモンドアの小川	1847
15	ルイス・ヴィルジール・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の中の農婦	1868
16	ジュール・デュプレ	森のはずれ	1860年代
17	シャルル・エミール・ジャック	森の中	1871
18	ギュスターヴ・クールベ	眠る人	1853
19	ギュスターヴ・クールベ	嵐	1865頃

「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期	平成20年11月22日(火)~21年1月11日(日)	点数	18点	37日間
1	浅井 忠	藁屋根		1887頃
2	浅井 忠	漁婦		1897
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景		1901
4	浅井 忠	老母像		1906
5	アントニオ・フォンタネージ	十月、牧場の夕べ		1860
6	アントニオ・フォンタネージ	木立		1868~72頃
7	アントニオ・フォンタネージ	森の空き地の農婦		不詳
8	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレステル風景(沼)		不詳
9	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	ナポリ近郊の思い出		1960~65
10	テオドール・ルソー	バルビゾンの農場		1850~55頃
11	ジャン・フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊		1860頃
12	シャルル・フランソワ・ドービニー	オワーズ川のほとり		1865年
13	ルイス・ヴィルヘルム・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の中の農婦		1868年
14	ジュール・デュプレ	森のはずれ		1860年代
15	コンスタン・トロワイヨン	河辺の道		1860~65
16	シャルル・エミール・ジャック	森の中		1871
17	ギュスターヴ・クールベ	嵐		1865頃
18	ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿		1869頃

「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」

会期	平成21年2月28日(土)~21年4月5日(日)	点数	18点	37日間
1	浅井 忠	藁屋根		1887頃
2	浅井 忠	小丹波村		1893
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景		1901
4	浅井 忠	老母像		1906
5	アントニオ・フォンタネージ	十月、牧場の夕べ		1860
6	アントニオ・フォンタネージ	木立		1868~72頃
7	アントニオ・フォンタネージ	牛を追う農婦		不詳
8	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレステル風景(沼)		不詳
9	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	フォンテンブローの風景		1830~35頃
10	ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	ナポリ近郊の思い出		1960~65
11	テオドール・ルソー	バルビゾンの農場		1850~55頃
12	シャルル・フランソワ・ドービニー	オワーズ川のほとり		1865
13	ルイス・ヴィルジール・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の中の農婦		1868
14	ジュール・デュプレ	森のはずれ		1860代
15	コンスタン・トロワイヨン	河辺の道		1860~65
16	シャルル・エミール・ジャック	森の中		1871
17	ギュスターヴ・クールベ	眠る人		1853
18	ギュスターヴ・クールベ	嵐		1865頃

【第3展示室】

「新収蔵作品展」

会期 平成20年4月8日(火)～6月8日(日)

点数 23点

54日間

1	石井光楓	靴屋	不詳
2	春日部たすく	盆地晩秋	1960
3	春日部たすく	戯れ	1964
4	春日部たすく	古墳壁画幻想	1969
5	春日部たすく	縄文の花	1970
6	春日部たすく	鎮魂の花	//
7	春日部たすく	回想の四季	1971
8	山室百世	鳥形水差	不詳
9	山室百世	蝶文鳥置物	//
10	山室百世	花蝶文花器	//
11	根箭忠緑	白銅花瓶 兎	//
12	関根薫園	傳山詩	1984
13	関根薫園	無邪	不詳
14	関根薫園	雲従龍	//
15	関根薫園	獻壽	//
16	福田平八郎	椿大瑠璃	//
17	松沢茂雄	射光	1996
18	堀 友三郎	浮雲	1974
19	堀 友三郎	ノトロサンゴ草	2001
20	堀 友三郎	桜島	2006
21	種谷扇舟	臨 當門石坐刻石	1983
22	種谷扇舟	石原八束の句	1989
23	種谷扇舟	感謝の一生	1998

「デッサン」

会期 平成20年6月14日(土)～8月10日(日)

点数 41点

50日間

1	浅井 忠	あひる	1902～07
2	浅井 忠	野菜	不詳
3	浅井 忠	石膏臨画	//
4	足立源一郎	あは田	1907
5	足立源一郎	下加茂森	//
6	足立源一郎	裸婦	1912～25
7	須田国太郎	デッサン(猿)	1950
8	須田国太郎	デッサン(鷺)	//
9	須田国太郎	デッサン(膝に腕を置く裸婦)	1940～46
10	須田国太郎	デッサン(ロバ)	1941
11	須田国太郎	デッサン(猫)	1949
12	須田国太郎	デッサン(走鳥)	1953
13	須田国太郎	デッサン(腰かける裸婦)	不詳
14	須田国太郎	デッサン(黒つぐみ)	//
15	田中志奈子	デッサン(神宮)	1905
16	田中志奈子	デッサン(大原女)	//
17	田中志奈子	デッサン(箒をもつ女)	//
18	鶴田吾郎	裸婦	1947
19	鶴田吾郎	女の横顔	1920
20	鶴田吾郎	女子挺身隊(ハラジュート工場)	1942
21	鶴田吾郎	自画像	1912
22	鶴田吾郎	中山競馬場	不詳
23	中西利雄	T嬢	1935
24	中西利雄	帽子をかぶった女	//
25	中西利雄	マドマゼールH(B)	1940～43

26	原 勝郎	デッサン(G)	不詳
27	原 勝郎	デッサン(K)	不詳
28	原 勝郎	デッサン(M)	不詳
29	原 勝郎	デッサン(N)	//
30	原 勝郎	デッサン(O)	//
31	安井曾太郎	デッサン(裸婦)	1907
32	安井曾太郎	デッサン(裸婦)	1907
33	安井曾太郎	デッサン(裸婦)	1907
34	安井曾太郎	デッサン(裸婦)	1907
35	安井曾太郎	デッサン(裸婦)	1907
36	安井曾太郎	デッサン(裸婦)	1937
37	安井曾太郎	デッサン(裸婦)	1937
38	安井曾太郎	デッサン(少女)	1937
39	柳 敬助	デッサン(腰かける裸婦)	不詳
40	柳 敬助	デッサン(ポーズする裸婦) 1	不詳
41	柳 敬助	デッサン(ポーズする裸婦) 2	不詳

「県展史の人々」

会期 平成20年8月16日(火)～10月5日(日)

点数 64点

54日間

【日本画】

1	田岡春径	幽	1969
2	東山魁夷	門	1952
3	富取風堂	葛西風景	1937
4	渡辺阿以湖	牡丹	1986
5	菅沢幸司	利根風景	不詳
6	大岩成徳	玉蜀黍	1980
7	渡辺 學	川口	1976
8	鈴木月潭	茂・残雪	1970頃
9	立石春美	狗	1967
10	酒井亜人	太海	1954
11	吉田登穀	玉堂富貴	不詳
12	関 主税	潤声	1977
13	加倉井和夫	穀機	1967
14	秋葉長生	西の京	1973
15	島多訥郎	群魚と波動	1975
16	松尾敏男	歷程	1984
17	若木 山	潭	1965
18	後藤純男	山門雨後	1974

【書】

1	浅見喜舟	太公有意垂釣	1983
2	大石隆子	待君	1975
3	高沢南総	龍虎	1988
4	千代倉桜舟	宗左近詩(縄文太鼓より)	1993
5	種谷扇舟	石原八束の句	1989
6	高宮金陵	山部赤人歌	不詳
7	板倉花巻	神情詩	1949
8	江川碧潭	龍溪山	不詳
9	小暮青風	石見の海	1979
10	金子聰松	孟浩然詩	1992
11	浅見錦龍	蘭亭序	1981
12	中村象閣	星野立子句	1998
13	鈴木方鶴	壺中日月長	1984

【工芸】

1	河村蜻山	長方皿 雨・風・晴	不詳
2	信田 洋	伸びゆく湾	1964

平成20年度 アート・コレクション展

3	土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	1967頃
4	木村和一	花と虫	1937
5	宮之原謙	象嵌磁鉢	1968
6	青木滋芳	洞門	1965
7	香取正彦	臙銀玉錯花瓶	1979
8	佐治賢使	苑	不詳
9	山本正年	瑞光	不詳
10	三村比呂志	想曲	1971

[洋画]

1	椿 貞雄	秋果図	1951
2	安藤信哉	パリの窓	1962
3	峰岸義一	光の中の馬	不詳
4	山谷鉄一	風	1970
5	石橋武治	夜の富士	1969
6	遠藤健郎	朝市	1975
7	笹岡了一	放蕩息子の帰宅	1960
8	櫻田精一	白い舟	1985
9	内藤 隼	緑衣の婦人像	1961
10	山本不二夫	赫い道	1971
11	国松伽耶	魚	1954
12	高松健太郎	海辺・星	1986
13	中山爾郎	フロイエンの丘	1988
14	宮島美明	少女	1981
15	和田 清	南房江見海岸	1970
16	篠崎輝夫	絵馬による	1976

[彫刻]

1	藤野天光	希望	1971
2	大須賀力	もたれる	1957
3	荒居徳亮	女性マスク	1946頃
4	大川逞一	聖 観 音	1967
5	長谷川昂	朝	1979
6	神野義衛	呻	1972
7	綿引司郎	遥	1970

「こどものための展覧会ー海の風景ー」

会期 平成20年11月22日(土)～平成21年 1月11日 (月)

点数 24点 37日間

1	相田直彦	清浪	不詳
2	浅井 忠	帆船の図	1907
3	石川 響	小湊の朝	1999
4	牛島憲之	潮	不詳
5	遠藤健郎	房総線ディーゼル・カの乗客たち	1997
6	大久保作次郎	風	1955
7	大久保作次郎	海水浴帰り	1917
8	鹿子木孟郎	風景	不詳
9	小堀 進	花と海	1974
10	小山周次	銚子犬吠埼	1961
11	斉藤 惇	大漁の日	2002
12	佐々木一郎	漁村	1981
13	須田国太郎	風景(漁船)	不詳
14	椿 貞雄	犬吠埼	1948
15	時田幸彦	犬吠	1991
16	都鳥英喜	海浜風景	1909
17	富田通雄	外房鵜原	不詳
18	鳩川誠一	かもめ	1942
19	服部正一郎	海鹿島山	1957
20	林 俊衛	太海	不詳
21	ジョルジュ・ビゴー	稲毛の夕焼け	1892～97頃
22	松本弘二	海鹿島の夏	1951

23	渡辺 学	川口	1976
24	チャールズ・ワグマン	七里ガ浜風景	不詳

「房総を描く」

会期 平成21年1月14日(水)～1月25日(日)

点数 15点 11日間

1	氏家次郎	海辺	1971
2	円城寺昇	岩	不詳
3	遠藤健郎	房総線ディーゼル・カの乗客たち	1997
4	大久保作次郎	風	1955
5	櫻田精一	太海	1953
6	佐々木一郎	漁村	1981
7	椿 貞雄	犬吠埼	1948
8	〃	岩	1936
9	時田幸彦	犬吠	1991
10	服部正一郎	海鹿島山	1957
11	林俊衛	太海	不詳
12	ジョルジュ・ビゴー	稲毛の夕焼け	1981
13	和田清	赤灯台のある風景	不詳
14	〃	南房江見海岸	1970
15	松本弘二	海鹿島の夏	1951

「木と漆」

会期 平成21年2月28日(土)～4月26日(日)

点数 31点 50日間

1	池内荷芳	鉄線模様文箱	1939～40頃
2	池内荷芳	松ヶ浦香合	1938
3	佐治賢使	苑	不詳
4	武田武弘	ランボーの詩より「朝」	1975
5	増村益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
6	三村比呂志	想曲	1971
7	深山美峰	四君子	1955
8	深山美峰	襲獲	1965
9	深山美峰	飛鶴	1975
10	中台瑞真	桐経箱	1992
11	中台瑞真	十六弁菱形盤	不詳
12	中台瑞真	桐菱形塗輪花盛器	〃
13	秋山逸生	菱華文象嵌長手箱	1946
14	秋山逸生	蝶貝象嵌箱	1966
15	秋山逸生	蝶貝象嵌小箱	1966
16	秋山逸生	蕾芝山象嵌額	1966
17	秋山逸生	木画箱	1969
18	秋山逸生	對 縞黒檀筆筒	1978
19	秋山逸生	カンナ芝山象嵌襟飾	1973
20	戸島甲喜	母の曲	1965
21	戸島甲喜	輪(りんご)	1969
22	戸島甲喜	カルマのイメージ	1972
23	戸島甲喜	群生の彼方に	1975
24	戸島甲喜	天と地の間に	1977
25	戸島甲喜	蘇生	1977
26	戸島甲喜	胎宙の図	1992
27	戸島甲喜	胎河観想	1994
28	池田丈一	ひねくれた正四面体	1981
29	大川逞一	聖観音	1967
30	長谷川昂	釈迦	1976
31	堀川 恭	聖なる佇立	1981

平成20年度 アート・コレクション展

「石井林響」

会期 平成20年4月26日(土)～5月25日(日)

点数 38点 26日間

1	石井林響	木華開耶姫	1906
2	石井林響	桃源	1913
3	石井林響	漁樵	1913頃
4	石井林響	羅浮仙女	大正初期
5	石井林響	瑞鶴	大正初期
6	石井林響	夜道を駆ける人	大正初期
7	石井林響	松に鴉	大正初期
8	石井林響	唐美人	大正初期
9	石井林響	高土観瀑	大正初期
10	石井林響	春秋	大正初期
11	石井林響	梅花小禽	大正初期
12	石井林響	白閑鳥	大正初期
13	石井林響	葦に鳥	大正初期
14	石井林響	蘇武	大正初期
15	石井林響	梅花書屋	大正初期
16	石井林響	雨後浮船	大正初期
17	石井林響	嵐	大正初期
18	石井林響	葦と白鳥	大正初期
19	石井林響	達磨	大正初期
20	石井林響	竹花鳥	大正初期
21	石井林響	櫻	大正初期
22	石井林響	冬景色	大正初期
23	石井林響	釣人	大正初期
24	石井林響	白衣の老人	大正初期
25	石井林響	老人と船	大正初期
26	石井林響	寒山拾得	大正初期
27	石井林響	崖に向かう老人	大正初期
28	石井林響	老松白鷺図	大正中～昭和初期
29	石井林響	唐獅子	大正中～昭和初期
30	石井林響	浦島太郎図	大正中～昭和初期
31	石井林響	舟遊図	大正中～昭和初期
32	石井林響	桃源	大正中～昭和初期
33	石井林響	白閑鳥	1924～25
34	石井林響	岩魚つり	1926
35	石井林響	湖山清秋	1927
36	石井林響	蓬莱仙境之図	1927
37	石井林響	秋景山水	1928
38	石井林響	山水図	1928

「千葉の陶芸」

会期 平成20年5月31日(土)～8月10日(日)

点数 39点 62日間

1	浅井 忠	桔梗文花瓶	1902～07
2	浅井 忠	茶器(猿蟹合戦ノ図)	1902～07
3	神谷紀雄	鉄絵銅彩あやめ紋大鉢	1986
4	神谷紀雄	鉄絵銅彩椿紋壺	1987
5	河村靖山	初黒茶碗	1938～46
6	河村靖山	長方皿 雨・風・晴	不詳
7	川上祥三郎	黄釉鳥紋大花瓶	1975
8	川上祥三郎	釉彩草文大皿	1984
9	津田信夫	蜻蛉耳花生	1941～43
10	津田信夫	茶碗	不詳
11	土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	1967頃
12	土肥刀泉	辰砂菊花花瓶	不詳
13	土肥刀泉	銅彩牡丹文扁壺	不詳

14	土肥紅繪	小袖随想	1992
15	土肥 満	蹲踞	1993
16	三橋英作	象嵌花器(展)	1984
17	宮之原謙	象嵌十字星結晶花挿	1932
18	宮之原謙	天目釉草花文壺	1933
19	宮之原謙	盛上磁連星壺	1933
20	宮之原謙	牡丹文盛上水指	1935頃
21	宮之原謙	白磁四方百合象嵌大皿	1935頃
22	宮之原謙	象嵌磁盛上花蝶鉢	1938
23	宮之原謙	鉄釉牡丹唐草彫文壺	1938
24	宮之原謙	天目釉蓮蕾彫文壺	1940頃
25	宮之原謙	陶器葡萄彫文壺	1949
26	宮之原謙	彩地盛連葉文壺	1955頃
27	宮之原謙	双魚花瓶	1958
28	宮之原謙	象嵌磁鉢	1968
29	宮之原謙	象嵌磁サボテン壺	1970
30	宮之原謙	彩盛百合文壺	1974
31	宮之原謙	鉄茶釉鱗文花瓶	1975
32	宮之原謙	釉嵌よろけ縞と盛上円壺	不詳
33	宮之原謙	香炉	不詳
34	宮之原謙	白釉茶碗	不詳
35	山本正年	釉彩彫文飾皿兼盛皿	1950
36	山本正年	黎明	1953
37	山本正年	瑞光	不詳
38	横山朝陽	草花紋搔落皿	不詳
39	横山朝陽	牡丹紋搔落壺	不詳
40	横山朝陽	伊羅保茶盃	不詳
41	横山朝陽	唐津皮鯨平茶盃	不詳
42	横山光ノ介	戦碑	1976

「金工の世界」

会期 平成21年11月22日(土)

～21年月1月11日(日) 37日間

1	香取秀真	鳩香炉	1949
2	香取秀真	筋入花瓶	不詳
3	香取秀真	霊獣文大花瓶	不詳
4	香取秀真	銅製鰐口	不詳
5	香取秀真	銅製 鼎	不詳
6	香取秀真	美々豆久香炉	不詳
7	津田信夫	煙草入	1929
8	津田信夫	変貌七色	1933
9	津田信夫	荒鷲	1942
10	津田信夫	唐獅子置物	1946
11	津田信夫	玉麟 爐	不詳
12	津田信夫	水盤	不詳
13	高村豊周	香炉	不詳
14	高村豊周	青銅花入	不詳
15	根箭忠縁	白銅花瓶 兎	不詳
16	鹿島一谷	布目象嵌菱つなぎ文南鐙水指	1981
17	鹿島一谷	布目象嵌 白鷺四態図銀水注	1996
18	香取正彦	鑄銅四神文四方花瓶	1952
19	香取正彦	からかね水注	1964
20	山室百世	鑄銅草花置物	1933
21	山室百世	黄銅線條文花瓶	1936
22	山室百世	鑄銅想念置物	1953
23	山室百世	蝶文鳥置物	不詳
24	山室百世	鳥型水差	不詳

平成20年度 アート・コレクション展

25	会田富康	蓋のある青銅壺	1965
26	会田富康	青銅双鳥置物	不詳
27	大須賀喬	蝶文黒銅香炉	1983
28	大須賀喬	昆蟲文飾皿	1986
29	中村董一	あこがれ	1960
30	中村董一	鑄銅花瓶	1935頃
31	中村董一	鑄銅花瓶	1935頃
32	信田 洋	帯装瓶	1971
33	信田 洋	赤銅張小筥	1973
34	信田 洋	金彩壺	1979
35	関谷四郎	銅鉄壺	1974
36	染川鉄之助	青銅石の目	不詳
37	津田永寿	雪の朝	1989
38	津田永寿	喜心	1998
39	寺本美茂	萃象（象嵌壺）	1984
40	寺本美茂	陽春飾壺	1992
41	飯田美郎	緑陰	1973
42	西 大由	青銅小壺	不詳
43	堀口光彦	安眠装置	1986
44	小林正利	宴野	1996

「書の美」

会期 平成21年3月20日(金)～5月6日(水)

点数 27点

62日間

1	石井雙石	人生一楽	1963
2	石井雙石	鶴（印影）・印	1971
3	石井雙石	種（印影）・印	1971
4	石井雙石	五里霧中（印影）・印	1955
5	浅見喜舟	卜居	1981
6	浅見喜舟	木戸公之詩	不詳
7	浅見喜舟	白楽天詩	1954
8	奥田家山	竹取物語	1988
9	奥田家山	木簡	1986
10	今関脩竹	白雪	1983
11	高澤南総	春風秋月	1965
12	小暮青風	漂泊の思い	1985
13	小川瓦木	叙情	1959
14	千代倉桜舟	宗左近の詩	1988
15	中村象閣	万葉二首	1994
16	種谷扇舟	臨 當門石坐刻石	1983
17	関根薫園	傳山詩	1984
18	高橋蒼峰	鳴瑟	1982
19	金子聴松	視思明	1973
20	鈴木方鶴	一笑千山青	1984
21	高木東扇	旅人	1981
22	成瀬映山	帰去来辞	2003
23	浅見錦龍	九十九里	1960
24	大野虚舟	天霊地気一騰	1992
25	石井雙石	鶴	1971
26	石井雙石	種	1971
27	種谷扇舟	原稿（日記の一部）	1971頃

「藤田喬平展

会期

会場

展示点数

入場者数

ガラスの光彩—伝統と創造—

平成21年 1月17日(土)～2月22日(日)

32日間

第1・2・3・8展示室

103点

5,225名

No.	作者	作品名	制作年
1	藤田喬平	春の小川	1955
2	藤田喬平	花瓶「三彩」	1962
3	藤田喬平	三彩花瓶	1963
4	藤田喬平	流動花瓶	1964
5	藤田喬平	虹彩	1964
6	藤田喬平	流動三彩	1965
7	藤田喬平	緑の花	1967
8	藤田喬平	流動「牡丹」	1967
9	藤田喬平	流動「流」	1967
10	藤田喬平	岳	1968
11	藤田喬平	華	1969
12	藤田喬平	光輝	1970
13	藤田喬平	飾筥「菖蒲」	1973
14	藤田喬平	飾筥「光悦」	1973
15	藤田喬平	花瓶「カレーナ・グランデ」(大運河)	1977
16	藤田喬平	飾筥「朱雀」	1978
17	藤田喬平	カンナ・大鉢	1978
18	藤田喬平	飾筥「湖上の花」	1980頃
19	藤田喬平	ヴェニス三彩	1980頃
20	藤田喬平	クリスタル花器	1981
21	藤田喬平	クリスタル「初夏」	1981
22	藤田喬平	クリスタル水指	1981
23	藤田喬平	クリスタル花器「春近く」	1981
24	藤田喬平	ドウカーレ	1982
25	藤田喬平	飾筥「早春」	1982
26	藤田喬平	蓋物向付(5客)	1983
27	藤田喬平	創生	1983～84
28	藤田喬平	ヴェニスの灯	1984
29	藤田喬平	風	1984
30	藤田喬平	飾筥「しだれ桜」	1985
31	藤田喬平	誕生	1985
32	藤田喬平	旅舟(B)	1985
33	藤田喬平	花瓶「那智の流れ」	1985
34	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986
35	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986
36	藤田喬平	花鉢「サンマルコの栄光」	1986
37	藤田喬平	波	1986
38	藤田喬平	容	1987
39	藤田喬平	窓	1987
40	藤田喬平	華	1987
41	藤田喬平	飾筥「春に舞う」	1988
42	藤田喬平	飾筥「花の舞」	1989頃
43	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1990
44	藤田喬平	華精	1990
45	藤田喬平	天地創生	1990
46	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1990
47	藤田喬平	風・神	1990
48	藤田喬平	雷・神	1990
49	藤田喬平	飾筥「羽衣」	1990頃

No.	作者	作品名	制作年
50	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1990頃
51	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1991
52	藤田喬平	迎い風	1991
53	藤田喬平	追う風	1991
54	藤田喬平	流霜	1992
55	藤田喬平	彩環	1993
56	藤田喬平	飾筥「紅白梅」	1993
57	藤田喬平	三つの世界	1993
58	藤田喬平	飾筥「日輪」	1993頃
59	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1994頃
60	藤田喬平	飾筥「源氏物語」	1995
61	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1995
62	藤田喬平	飾筥「紅白梅」	1995
63	藤田喬平	水指	1995頃
64	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1996
65	藤田喬平	飾筥「琳派」	1996
66	藤田喬平	ヴェニス花鉢	1996
67	藤田喬平	飾筥「夜桜」	1996
68	藤田喬平	飾筥「室町」	1996頃
69	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1997
70	藤田喬平	皆具	1997
71	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1997
72	藤田喬平	波	1997
73	藤田喬平	飾筥「瑞光」	1998
74	藤田喬平	皆具	1998
75	藤田喬平	熔	1999
76	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1999
77	藤田喬平	硬質金・白金彩茶碗	1999
78	藤田喬平	ヴェニス茶盤	2000
79	藤田喬平	Apple	2000
80	藤田喬平	飾筥「紅白梅」	2000頃
81	藤田喬平	平和	2001
82	藤田喬平	飾筥「醍醐」	2001
83	藤田喬平	昇る太陽	2001
84	藤田喬平	飾筥「春千里」	2001
85	藤田喬平	飾筥「琳派」	2001
86	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2001
87	藤田喬平	飾筥「淡雪」	2001
88	藤田喬平	ヴェニス双彩	2001
89	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2001頃
90	藤田喬平	炎の舞	2002
91	藤田喬平	平水指	2002
92	藤田喬平	飾筥「龍田」	2002
93	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2002
94	藤田喬平	香合	2002
95	藤田喬平	秋宝	2003
96	藤田喬平	ヴェニス花鉢	2003
97	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003
98	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003
99	藤田喬平	水指	2003
100	藤田喬平	飾筥「飛鳥」	2003
101	藤田喬平	飾筥「日月」	2003
102	藤田喬平	飾筥「飛鳥」	2003
103	藤田喬平	波濤を越える	2003

第32回千葉県移動美術館

市原市五井会館を会場として日本画・洋画・彫刻・工芸・書・版画の各分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第60回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。

会期	平成19年12月6日(土)～17日(水)(16日は休館)	14日間
会場	市原市五井会館	
展示点数	40点(含県展賞授賞作品)	
入場者数	640名	

[日本画]

1 富取風堂	秋の草	1937
2 島多訥郎	秋趣	1966
3 大岩成徳	玉蜀黍	1980
4 立石春美	狗	1967
5 古城江観	ヴェニス所見	不詳

[工芸]

23 香取秀真	千本松文釜	不詳
24 津田信夫	子迷家鴨	1938
25 宮之原謙	象嵌磁サボテン壺	1975頃
26 山室百世	鑄銅萌ゆる力置物	1940
27 信田 洋	黒孔雀の瓶	1967
28 神谷紀雄	鉄絵銅彩椿紋壺	1975頃

[洋画]

6 コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
7 ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844
8 フォンタネージ	牛を追う農婦	1862
9 クールベ	眠る人	1853
10 浅井 忠	農婦	1902
11 堀江正章	耕地整理図	1901～02
12 梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
13 椿 貞雄	春夏秋冬図屏風(春)	1931
14 板倉 鼎	金魚	1928
15 不破 章	裁縫女	1943
16 小堀 進	レマン湖畔	1962
17 今井謙二	姉ヶ崎	不詳
18 松沢茂雄	射光	1981
19 久保木彦	夢の詩	1978

[書]

29 石井雙石	醉郷候印・陶犬瓦鶏	1952
30 浅見喜舟	麟出鳳翔	1973
31 小林湖東	壽無涯	不詳
32 中村象閣	古泉千櫓の歌	1972

[版画]

33 浜口陽三	さくらんぼと青い鉢	1976
34 星 襄一	王の樹	1976
35 深沢幸雄	天空を計る	1979
36 多賀 新	瞳〈ユニコーン〉	2000

第60回県展《県展賞》受賞作品

37 中村禎子	化石と標本と一、一、一	2008
38 推名久夫	時の音	2008
39 松原伸生	藍形松煙染着物 潮騒	2008
40 田村鄭雲	加南子の詩	2008

[彫刻]

20 高村光太郎	手	1918
21 高田博厚	マハトマ・ガンジー	1960
22 安西順一	秋晴	1948

財政部為整理公債起見，特將前經發行之公債，分別整理，其整理辦法，業經呈請行政院核准在案。茲將整理公債辦法，分列如左：

一、整理公債辦法

(一) 整理公債辦法

1. 整理公債辦法

2. 整理公債辦法

3. 整理公債辦法

4.

5. 整理公債辦法

6. 整理公債辦法

7. 整理公債辦法

8. 整理公債辦法

9. 整理公債辦法

10. 整理公債辦法

11.

12. 整理公債辦法

13. 整理公債辦法

14. 整理公債辦法

15. 整理公債辦法

16.

17. 整理公債辦法

18. 整理公債辦法

19. 整理公債辦法

20. 整理公債辦法

21.

22. 整理公債辦法

23. 整理公債辦法

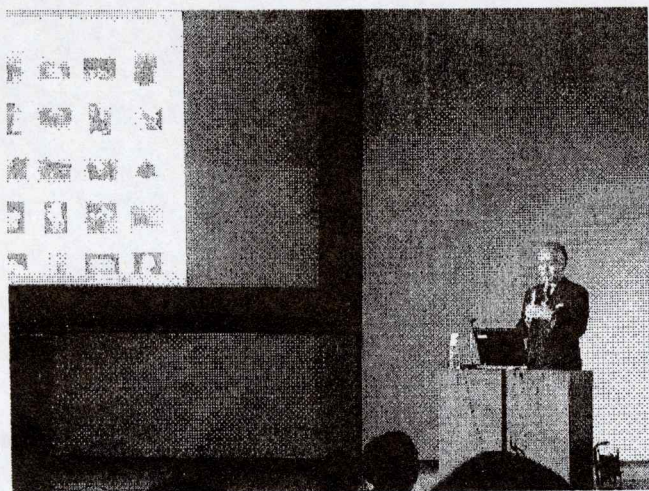
24. 整理公債辦法

25. 整理公債辦法

26.

□ 普及事業 □

《「藤田喬平展 ガラスの光彩—伝統と創造—」 関連事業



■美術講演会

「藤田喬平の魅力—その本質を探る」

美術評論家の武田厚氏を講師に招き、日本での岩田藤七、各務鉦三らに始まる日本のガラス制作の歴史や、藤田喬平が考案したガラス管のイメージはどこから得られたか、また世界でどのように受け入れられたかについて、藤田作品のスライドを見ながら説明を受けた。

期 日 平成21年1月31日(土) 14:00～15:30

場 所 講堂

参加者 52人

■ミュージアムコンサート「藤田喬平展」関連事業

企画展「藤田喬平展 ガラスの光彩—伝統と創造—」開催中に歌とピアノ三重奏による『イタリア・ヴェネツィアと日本の名曲集』と題してニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによる、コンサートを行った。

第1部はイタリア・ヴェネツィアの音楽として「海に來たれ」や「帰れソレントへ」など、第2部は日本の名曲として「春の海」や「荒城の月」など、親しみのある曲や、テノール歌手の声量溢れる歌声を楽しむことができた好評であった。

期 日 2月7日(土) 14:00～15:30

会 場 講堂

参加者 168名

■「藤田喬平展」関連ワークショップ

○藤田喬平展関連スペシャルワークショップ

「ガラスで・あーと」

藤田喬平展を鑑賞後、ガラス(角型のフラワーベース)の表面にエッチングの技法で模様を付け、作品を創作した。薬品を使用することから18歳以上の年齢に限定した。

期 日 2月3日(火) 13:00～15:00

場 所 第2アトリエ

参加者数 30名

○藤田喬平展関連スペシャルワークショップ

「きらめきあーと」

藤田喬平展を鑑賞後、小学生を対象に、鏡をベースにした作品を制作した。四角や楕円など大小さまざまな色ガラスを配置し、模様を作った。ガラス片はボンドで定着させて仕上げた。できあがった作品は、屋外で太陽の光を反射させて楽しみ、鑑賞の時間とした。

期 日 2月21日(土) 10:00～12:00、13:30～15:30

場 所 第2アトリエ

参加者 54名

■ギャラリートーク

ガラス作家で、藤田喬平氏の長男でもある藤田潤氏を講師に迎え、ヴェネツィアで制作した時のエピソードや各作品にまつわる思い出、制作技法などについて、ガラス材料を用いての、臨場感あふれる話が展開された。

期 日 平成21年1月17日(土) 14:00～

平成21年2月7日(土) 12:30～

場 所 第8展示室

参加者 1月17日 105人 2月7日 113人



■「ワークショップ」

美術館でしか味わえない創作体験学習を通して、親しまれる美術館利用の促進を図るため、展覧会に因んだ内容で、以下のワークショップを開催した。

○第1回ワークショップ「ビッグ・ペイントあーと」

80mほどの外壁に貼った紙、乗用車の車体に、筆やスポンジ、刷毛などを使って自由に絵を描く創作体験を実施した。併せて館内のアート・コレクションを鑑賞する機会を設けた。

期 日 5/10(土) 13:00~15:00

場 所 美術館野外

参加者 119名

○第2回ワークショップ「県民の日・エンジョイあーと」

県民の日に近い土曜日に、カンバッジあーと(色鉛筆等で描いた紙でカンバッジ作り)、色すな・あーと(ガラス板に色の砂で絵を描き額に入れる)、かくかく・あーと(ハガキ大の紙に四角い色シールで模様をつける)の3種類の創作体験を実施した。併せて館内のアート・コレクションを鑑賞する機会を設けた。

期 日 6/14(土) 10:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者 52名

○第3回ワークショップ「墨いろで・あーと」

アート・コレクション「前衛の書」展示に因み、展示を鑑賞し、書に親しむ創作体験を実施した。今回は、小・中学生を対象に、文字の成り立ちを学びながら、幅180cmのロール紙などに墨を思う存分使い、思い思いの形や各人の好きな文字を表現した。最後に全員で一文字ずつ文字を書き、できあがった歌詞を合唱した。

期 日 7/5(土) 13:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者 37名

○第4回ワークショップ「モノレールさんぽで・

あーと」

小学生の親子を対象に、モノレール会社の車両基地内で、カラーシールを使った貼り絵を作り、各々の作品をつなげて車両内に展示した。また、モノレールに乗って陶芸作家の工房を訪ね、陶芸作品の鑑賞と作陶工程の見学を行った。

期 日 10/4(土) 13:00~15:30

場 所 千葉都市モノレール会社、紀雲窯

参加者 22名

○第5回ワークショップ「その場で・あーと」

年齢制限を設けず、参加者がすぐ取り組める創作体験の場を提供した。今回は丸い紙にクレヨンやパステル、色鉛筆などの描画材を自由に使い、描いた絵をオリジナルカンバッジに仕上げた。

期 日 12/6(土) 10:00~15:00

場 所 県民アトリエ棟 講堂前ロビー

参加者 217名

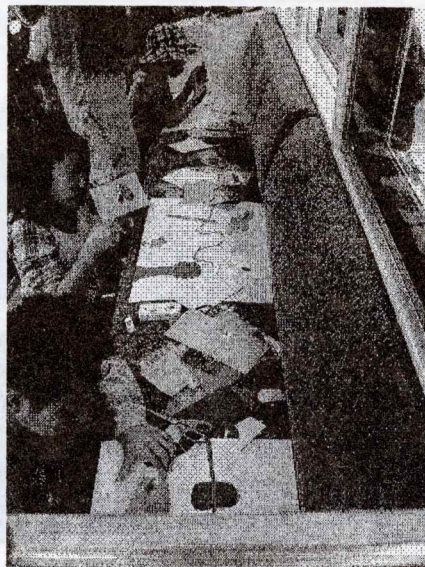
○第6回ワークショップ「針金で・あーと」

アート・コレクション「金工の世界」を鑑賞後、金属に親しむ創作を行った。太さ1mmと3mmのアルミの針金を使い、ラジオペンチで曲げたり切ったりしながら思い思いの形を創作し、できあがった作品を鑑賞した。

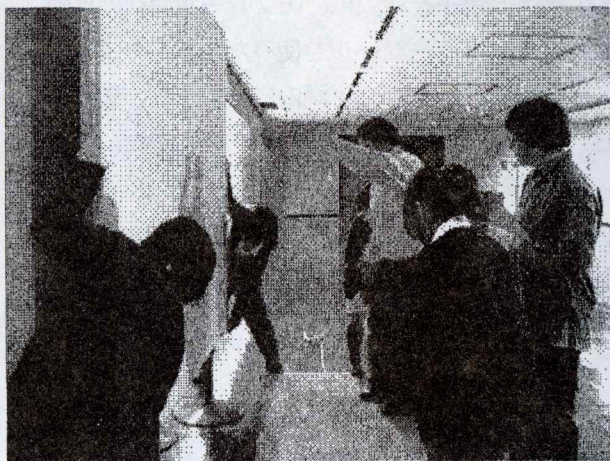
期 日 1/10(土) 13:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者 27名



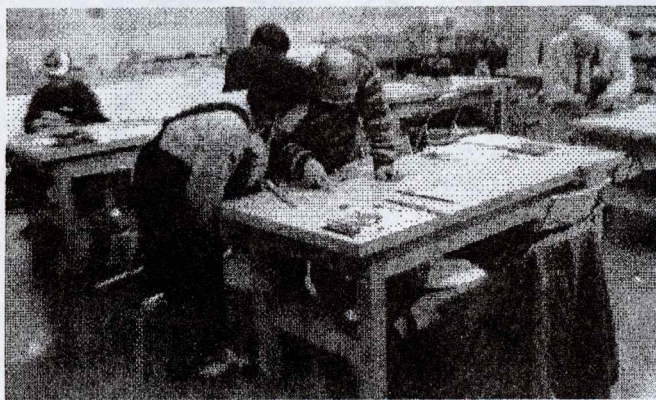
■美術館講座



平成 15 年度から、博学連合の理念に基づき開設していた八街高等学校との美術館講座は 18 年度で終結し、平成 19 年度の準備期間を経て幕張総合高等学校と連携し、今年度 4 月から 11 月までの期間、土曜日や夏季休業中を利用し実施した。美術館内で講座を開講し参加した生徒は 12 名で、うち 11 名が終了し単位を取得した。

当講座の内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために、実際に本館の展示に関わり、興味のある作家・作品について研究し、最後に発表の場面としてその作品について語るギャラリートークを行うものであった。展示からギャラリートークに至るまで、展覧会の情報発信の仕方について、チラシ制作や美術工芸品の取り扱い方などを交えながら実際の学芸員と同様の活動を体験した。また、普及活動としてワークショップに参加し、来館者と直接ふれあう体験を行った。

■実技講座



〔陶芸講座（応用）〕

期 日 4/24(木)・4/25(金)・4/26(土)・

4/27(日)・5/15(木)・5/22(木)

(6 日間、講師指導日数は 6 日間)

講 師 鈴木久美子氏

受講者 22 名

内 容 陶芸経験者が、それぞれ作品を制作し、象嵌技法に挑戦した。

〔陶芸講座（基礎）〕

期 日 5/29(木)・5/30(金)・5/31(土)・

6/1(日)・6/19(木)・6/26(木)

(6 日間、講師指導日数は 6 日間)

講 師 鈴木久美子氏

受講者 32 名

内 容 陶芸初心者を中心に、ひもづくりと板づくりの技法で作品を作り、用具の扱いなどを学んだ。

〔銅版画講座〕

期 日 7/16(水)・7/17(木)・7/18(金)・

7/23(水)・7/24(木)・7/25(金)

(6 日間、講師指導日数は 6 日間)

講 師 上田靖之氏

受講者 18 名

内 容 広く版画についての講義を受け、銅版画の制作を通して、技法や用具の扱いを学んだ。

〔ホリデーアート木版画講座〕

期 日 8/16(土)・8/17(日)

(2 日間、講師指導日数は 2 日間)

講 師 上田靖之氏

受講者 22 名

内 容 広く版画についての講義を受け、木版画の制作方法や魅力について学び、最大 4 版の多版多色木版画を制作した。高校生や勤労者も参加できるように、土曜・日曜に設定した。

〔金工講座〕

期 日 1/20(火)・1/21(水)・1/22(木)・

1/23(金)・1/27(火)・1/28(水)・

1/30(金)・2/4(水)・2/5(木)・2/6(金)

(10日間、講師指導日数は7日間)
 講 師 小林正利氏
 受講者 11名
 内 容 銅板レリーフと彫金の作品製作を通して、各種工具の取り扱い方と金属工芸の具体的な技法を身につけた。

【篆刻講座】

期 日 2/10(火)・2/13(金)・2/17(火)・
 2/20(金)・2/24(火)・2/27(金)
 (6日間、講師指導日数は6日間)
 講 師 那須大卿氏
 受講者 22名
 内 容 篆刻の歴史や技法について講義を受け、印の制作を通して基本的な技法や用具の取り扱い方を習得した。

■美術館体験学習

(インターンシップ・一日学芸員体験等)

平成14年度より施行されている新学習指導要領の主旨に鑑み、本館と学校とが連携を密にし一体となって、児童及び生徒が現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成するための事業として実施した。職場体験、職場訪問、インターンシップ、高校生セミナー等を希望する中学生や高校生を対象にした。

体験内容は、美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、野外彫刻の点検及び鑑賞、アートコレクションの鑑賞や作品紹介の発表会等である。また美術工芸品(掛け軸)の取扱いと保管の仕方の実技、ガラス絵や針金工作等の創作活動、情報資料の整理作業、ワークショップ準備、受付案内業務、展示室監視業務等を日数や人数に応じて実施した。

○ 参加学校数

中学校 11校、参加生徒数 44名

高等学校 4校、参加生徒数 7名

■「教師のためのアートガイダンス」

学校と美術館の連携を推進するために、美術館活用の方法を提案した。前半は美術館の教育普及

活動の取り組みの紹介、後半は鑑賞教育・創作体験の2つのコースに分けて研修を実施した。

期 日 8月7日(火) 第1部 9時～12時
 第2部 13時～16時

場 所 講堂、研修室、和室、第2アトリエ、展示室

対 象 県内小・中・高・特別支援学校の担当教員

参加者 ①35名 ②36名 計71名(66校)

■情報資料室

開館日の13時～16時に開室し、美術情報資料(図書、雑誌、図録、新聞等)の利用に供した。開館日数は300日、利用者は553名であった。また、各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、情報資料室等により、美術情報を提供した。

なお、20年度の収蔵図書については、38冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

美術総記	2,421冊
絵画	1,900冊
彫刻	295冊
工芸	388冊
書	201冊
版画	173冊
デザイン・建築	91冊
写真・映像	190冊
一般図書	523冊
合計	6,182冊

《活動協力》

■博物館実習

大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れた。

平成20年8月6日(水)～8月11日(月)

横浜美術短期大学(1人)、実践女子大学(1人)、金沢美術工芸大学(1人)、東京造形大学(1人)、昭和女子大学(1人)、跡見学園女子大学(1人)、千葉大学(2人)、学習院大学(1人)、清泉女子大学(2人)、武蔵野美術大学(1人)、立正大学(1人)、(11大学13人)

■千葉県立美術館友の会

1. 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で、教養を豊かにし、美術文化の向上を図り会員相互の親睦を深める。

2. 組織

- (1) 会員数 個人会員367人、賛助会員0人
- (2) 役員 会長1人、副会長2人、監事2人、理事若干名

3. 事業

- (1) 友の会だより「しおさい」の発行、年4回各600部印刷し、会員に配布した。
- (2) 第33回葉美会展の開催
会期 平成20年9月9日(火)～9月15日(月)
出品者 57人
展示点数 97点
- (3) 秋の美術鑑賞の旅
会員の親睦を深めるために千葉県内の文化施設・美術館等を訪ねる旅を実施した。
期日 平成20年10月23日(木)
場所 川村記念美術館、麻賀多神社、武家屋敷、メタルアートミュージアム光の谷
参加者数 29人
- (4) 館事業への協力
ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。
- (5) その他
テレフォンカード、絵葉書、額縁、額絵、図書等の販売

4. 平成20年度友の会実技講座

洋画入門講座1

期日 5/14(水)15(木)16(金)21(水)22(木)23(金)

講師 羽生智樹氏

受講者 34人

洋画入門講座2

期日 6/19(木)20(金)21(土)7/3(木)4(金)5(土)

講師 根岸茂行氏

受講者 24人

洋画入門講座3

期日 7/8(火)9(水)10(木)15(火)16(水)17(木)

講師 竹久秀樹氏

受講者 30人

洋画入門講座4

期日 7/29(火)31(木)8/1(金)

講師 根岸茂行氏

受講者 20人

洋画入門講座5

期日 8/6(水)7(木)8(金)20(水)21(木)22(金)

講師 池田敏男氏

受講者数21人

洋画入門講座6

期日 8/27(木)28(金)29(土)

講師 松澤茂雄氏

受講者数27人

洋画入門講座7

期日 9/4(木)5(金)18(木)19(金)20(土)

講師 根岸茂行氏

受講者数12人

洋画入門講座8

期日 9/10(水)11(木)12(金)

講師 松澤茂雄氏

受講者数31人

洋画入門講座9

期日 12/3(水)4(木)5(金)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 32 人

洋画入門講座 10

期日 2/17 (日) 23 (土) 24 (日)

講師 松澤茂雄氏

受講者数 22 人

洋画入門講座 11

期日 3/4 (水) 5 (木) 6 (金) 11 (水)

12 (木) 13 (金)

講師 羽生智樹氏

受講者数 32 人

水彩画講座

期日 6/4 (水) 5 (木) 6 (金) 11 (水)

12 (木) 13 (金)

講師 青柳光枝氏

受講者数 23 人

日本画講座

期日 11/18 (火) 20 (木) 22 (土) 27

(木) 28 (金) 12/9 (火)

講師 中村寛治氏

受講者数 12 人

■複製画の貸出

鑑賞教育の教材などとして、学校、社会教育施設などに、当館所蔵の複製画の貸出を行っている。
20 年度は 2 件 2 点の貸出を行った。

貸出先	貸出作品	貸出期間
千葉県立 中央図書館	セザンヌ 「サント・ヴィクトワール・ピペミュの眺め」	20.7.17 ~ 21.1.16
千葉県立 中央図書館	モネ 「印象・日の出」	21.1.16 ~ 21.7.17

■ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするために、情報資料室レファレンスのボランティアを募集し、登録者数は 14 名で活動した。ワークショップ準備と実践（ワークショップサポーター）のボランティアを募集し、11 名がワークショップサポーターとして活動した。

☐ 調査・収集事業 ☐

■平成20年度 貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
浅井忠 浅井忠 石井柏亭	トンボ 波 冬の朝	誌上のユートピア 近代日本の絵画と 美術雑誌 1889-1915	うらわ美術館 4.26~6.8	美術館連絡協議会 神奈川県立 近代美術館 葉山 うらわ美術館 愛知県美術館
浅井忠 浅井忠 石井柏亭	蜀黍 木かげの女 冬の朝		愛知県美術館 6.14~7.27	
大下藤次郎 石井柏亭 後藤工志 真野紀太郎 中西利雄 中西利雄 河合新蔵 小堀進	久々子湖 晩春行楽図 ダリア バラ トリエール・シュール・セーヌ 四人の女 春の日 冬晴れの果樹園	北海道の水彩画	北海道立近代美術館 20.4.26~6.8	北海道立近代美術館
コロー	フォンテンブローの風景	カミュー・コロー展	国立西洋美術館 20.6.14~8.31 神戸市立博物館 20.9.13~12.7	読売新聞社 国立西洋美術館 神戸市立博物館 NHK
東山魁夷	秋深 春雪	生誕100年 東山魁夷展	長野県信濃美術館 20.7.12~8.31	日経新聞社 東京国立近代美術館 長野県信濃美術館
大久保作次郎 高村光太郎	海水浴帰り 薄命児男児頭郎	小磯良平没後20年記念 子供のいる風景	神戸市立 小磯良平記念美術館 20.9.6~11.16	神戸市立 小磯良平記念美術館
椿貞雄	自画像 八重子像 横堀角次郎兄像 夏の風景 鋸山から見た房総半島	没後50年 愛情の画家 椿貞雄展	米沢市上杉美術館 20.9.27~10.26	米沢市上杉美術館 山形美術館
原 三郎	廃船	原三郎油彩展	佐倉市立美術館 20.11.3~11.9	原 三郎
石井雙石	林鳥相忘不避人 種(印影) 鶴(印影) 種竹斎 陶犬瓦鶏 午睡(裏面 故人今人如流水) 月入斜窓曉寺鐘	石井雙石展	篆刻美術館 20.9.27~11.24	篆刻美術館

■平成20年度 貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
浅井忠 浅井忠 石井柏亭	トンボ 波 冬の朝	誌上のユートピア 近代日本の絵画と 美術雑誌 1889-1915	うらわ美術館 4.26~6.8	美術館連絡協議会 神奈川県立 近代美術館 葉山 うらわ美術館 愛知県美術館
浅井忠 浅井忠 石井柏亭	蜀黍 木かげの女 冬の朝		愛知県美術館 6.14~7.27	
大下藤次郎 石井柏亭 後藤工志 真野紀太郎 中西利雄 中西利雄 河合新蔵 小堀進	久々子湖 晩春行楽図 ダリア バラ トリエール・シュール・セーヌ 四人の女 春の日 冬晴れの果樹園	北海道の水彩画	北海道立近代美術館 20.4.26~6.8	北海道立近代美術館
コロー	フォンテンブローの風景	カミュー・コロー展	国立西洋美術館 20.6.14~8.31 神戸市立博物館 20.9.13~12.7	読売新聞社 国立西洋美術館 神戸市立博物館 NHK
東山魁夷	秋深 春雪	生誕100年 東山魁夷展	長野県信濃美術館 20.7.12~8.31	日経新聞社 東京国立近代美術館 長野県信濃美術館
大久保作次郎 高村光太郎	海水浴帰り 薄命児男児頭部	小磯良平没後20年記 念 子供のいる風景	神戸市立 小磯良平記念美術館 20.9.6~11.16	神戸市立 小磯良平記念美術館
椿貞雄	自画像 八重子像 横堀角次郎兄像 夏の風景 鋸山から見た房総半島	没後50年 愛情の画家 椿貞雄展	米沢市上杉美術館 20.9.27~10.26	米沢市上杉美術館 山形美術館
原 三郎	廃船	原三郎油彩展	佐倉市立美術館 20.11.3~11.9	原 三郎
石井雙石	林鳥相忘不避人 種(印影) 鶴(印影) 種竹斎 陶犬瓦鶏 午睡(裏面 故人今人如流水) 月入斜窓曉寺鐘	石井雙石展	篆刻美術館 20.9.27~11.24	篆刻美術館

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
石井雙石	遊魚出水帰燕受風	石井雙石展	篆刻美術館 20.9.27~11.24	篆刻美術館
	養心王鉢			
	虎威將軍章			
	南極大守			
	五里霧中(裏面 半仙)			
	碩鉢(裏面雙石)			
	自用印一括(18点)			
	延年益寿			
	胡人入漢			
	盗瓜			
	足以容膝			
	解衣般礴			
	吟月			
	醉鄉候印(裏面 非心非佛)			
	天假之年			
	与人風馬牛			
	洗竹			
	無可無不可			
	春晚落華餘碧草			
	常山之蛇			
	跌座蹴			
	盃中蛇景			
	故弄諷詭			
	木兄馬			
	清樂			
	穆如			
	又得浮生半日間			
	清風明月醉時歌			
	木弟羊			
	雙松在前軒			
	中局外閑			
	樂在其中			
	一笑			
	無為			
	偶成(刀ヲ匠ラシ復タ〜)(裏面 吉陽)...			
	有竹居			
	Tiger(裏面 左思右考)			
	天衣無縫			

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
石井雙石	天衣無縫 富士(図) 人盡樂 牡丹記念 忠如 林外雪消山色静窓前春竹浅聲寒 一長一短 半仙玩窟藏 水廣魚游 何因鉢 川 談藝論道 一笑百印(100点) 一笑百印 水廣魚游 偶成(刀ヲ匠ラシ復タ〜)吉陽 踏破千山萬嶽煙 故人今人如流水 借宅亦種竹 喜字寿印譜 幽竹山西下 甲午印蛻抄 平安 至人只是常 人生一樂 いろは歌 山華水鳥皆知己 清風自来 一笑百印由来 虎 蝸牛画 文史游觀(亀甲文習作) 久遠寺印	石井雙石展	篆刻美術館 20.9.27~11.24	篆刻美術館
ミレー	垣根に沿って草を食む羊	フランス絵画の19世紀	島根県立美術館 21.3.6~5.31	島根県立美術館 横浜美術館 日本経済新聞社

平成20年度 収蔵資料数一覧（平成21年3月31日現在）

《収蔵資料》

受入方法	購 入	寄 付	保管替	合 計
日本画	128	177	25	330
洋画	352	532	42	926
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	244	10	403
書	110	158	14	282
版画	175	76	5	256
合計	997	1,236	107	2,340

《研究資料》

研究資料	244	1,320	52	1,616
------	-----	-------	----	-------

平成20年度収蔵資料一覧

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法(縦×横)cm (高×幅×奥行)cm
1	柴宮忠徳	樹と石	1982	キャンバス・油彩	寄附	90.9×116.7
2	池内荷芳	鉄線文様文庫	1939～40	木・漆	寄附	11.0×31.0×24.5
3		松ヶ浦香合	1938	木・漆	寄附	4.9×径8.5
4	二代須賀松園	花器 花鳥太陽	1962	鑄金	寄附	48.0×35.0×22.0
5		蠟型鑄銅 花器	1973	鑄金	寄附	28.0×30.0×32.0
6		伝芳文香炉	1979	鑄金	寄附	10.0×径0.9
7	三代須賀松園	想春譜	1968	鑄金	寄附	24.0×41.0×52.0
8		花器 華容盤	1980	鑄金	寄附	22.0×径26.0
9		花器 長江の詩	1981	鑄金	寄附	30.0×34.0×31.0
10		花器 暁雲	1983	鑄金	寄附	38.0×径15.0
11	芝 千秋	川岸風景	1904	紙・水彩	寄附	36.0×27.0
12		杜の大樹	1904	紙・鉛筆	寄附	35.5×26.7
13		樹々と農家	1905	紙・鉛筆	寄附	27.8×36.7
14		高木	1906	紙・鉛筆	寄附	27.5×36.2
15		山村風景	1906	紙・水彩	寄附	17.5×27.0
16		境内	1906	紙・水彩	寄附	23.5×32.4
17		樹幹	1906	紙・鉛筆	寄附	36.3×27.5
18		円山	1907	紙・水彩	寄附	36.3×27.4
19		樹間	1907	紙・水彩	寄附	36.3×27.5
20		女学生のいる風景	1907	紙・水彩	寄附	27.5×36.5
21		深草村	1909	紙・水彩	寄附	27.3×36.0
22		舞子	1910	紙・鉛筆	寄附	35.7×27.0
23		奈良	1911	紙・水彩	寄附	27.0×35.7
24		樹々	不詳	紙・水彩	寄附	14.5×24.0
25		境内の樹々	不詳	紙・鉛筆	寄附	27.1×36.5

(研究資料)

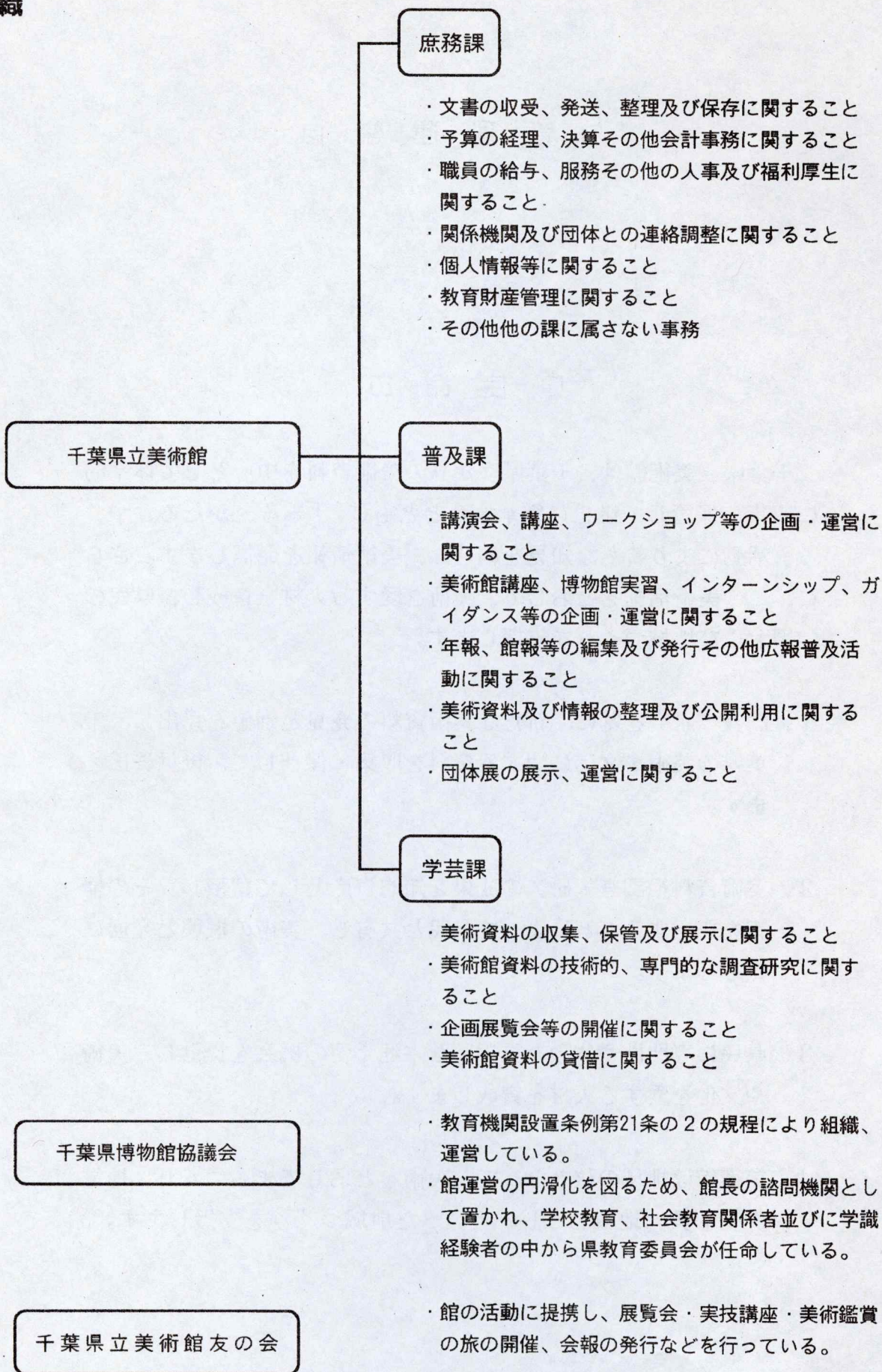
1	池内荷芳	翁面カフスボタン	1939～45	木	寄附	0.6×2.0×1.5
---	------	----------	---------	---	----	-------------

□ 管 理 運 営 □

□ 使 命 □

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。



■平成20年度職員

館 長	村 山 元 信	香 入 員	開 始 日	年 月 日
副 館 長	山 本 吉 一			
副 館 長	藤 川 正 司			
主 幹	前 川 公 秀			
庶務課				
主 査	伊 藤 正 浩			
副 主 査	森 田 樹 子			
主 事	小 倉 寛 敬			
主任用務員	長 島 則 子			

普及課

普 及 課 長	森 尚 登	香 入 員	開 始 日	年 月 日
上 席 研 究 員	乙 竹 孝 文			
上 席 研 究 員	川 村 千 津			
上 席 研 究 員	荒 井 喜 代 美			
研 究 員	高 橋 美 代 子			
学芸課				
上 席 研 究 員	金 田 雅 成			
上 席 研 究 員	相 川 順 子			
上 席 研 究 員	渋谷 さ ゆ り			

■利用状況

平成20年度入館者一覧表

	開館 日数	入場者 計	個 人									
			計	有 料			無 料					
				計	一 般	高・大生	計	一 般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	6,600	6,404	740	719	21	5,664	2,822	46	164	2,455	177
5月	27	9,233	8,940	1,034	975	59	7,906	3,881	271	246	3,306	202
6月	25	9,811	9,338	773	728	45	8,565	4,282	52	602	3,162	467
7月	27	10,815	10,728	826	784	42	9,902	4,458	175	1,319	3,556	394
8月	27	15,132	15,071	1,165	1,078	87	13,906	5,811	376	2,724	4,126	869
9月	25	7,698	7,484	779	726	53	6,705	3,190	252	303	2,681	279
10月	22	16,190	15,682	238	232	6	15,444	8,701	123	355	5,928	337
11月	25	7,812	7,613	336	322	14	7,277	3,560	425	496	2,598	198
12月	23	26,531	26,437	652	595	57	25,785	8,917	172	8,384	6,406	1,906
1月	23	5,828	5,760	742	718	24	5,018	2,451	41	141	2,237	148
2月	24	11,209	10,363	1,181	1,145	36	9,182	3,610	433	988	3,381	770
3月	26	9,614	9,393	1,358	1,312	46	8,035	3,420	154	593	3,503	365
計	300	136,473	133,213	9,824	9,334	490	123,389	55,103	2,520	16,315	43,339	6,112

	開館 日数	団 体										団体数
		計	有 料			無 料						
			計	一 般	高・大生	計	一 般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他	
4月	26	196	116	116	0	80	0	0	0	40	40	4
5月	27	293	96	96	0	197	0	0	0	197	0	5
6月	25	473	92	92	0	381	14	10	0	349	8	8
7月	27	87	0	0	0	87	13	0	74	0	0	3
8月	27	61	9	9	0	52	30	0	20	0	2	2
9月	25	214	80	56	24	134	16	0	36	70	12	1
10月	22	508	96	96	0	412	103	0	169	140	0	8
11月	25	199	0	0	0	199	93	0	43	49	14	5
12月	23	94	8	8	0	86	2	0	64	20	0	4
1月	23	68	0	0	0	68	2	0	35	31	0	2
2月	24	846	6	6	0	840	54	0	258	53	475	10
3月	26	221	63	63	0	158	0	0	1	157	0	6
計	300	3,260	566	542	24	2,694	327	10	700	1,106	551	58

その他＝(就学前児童)＋(心身障害者)

開館以来 総開館日数 10,113 日

総入館者数 5,671,470 人

■展示室利用団体

No.	展 覧 会 名	利用期間	展 示 内 容	出品点数
1	第24回千葉県日本水彩展	4/1 ～ 6	洋画	195
2	第23回日本画四季展	4/1 ～ 13	日本画	69
3	第78回郷陽会展	4/8 ～ 13	洋画	207
4	第22回ガラス絵コクリコ会展	4/8 ～ 13	ガラス絵	103
5	msb2008chiba 第34回展	4/22 ～ 27	日本画・洋画・デザイン・工芸・立体・その他	53
6	第35回千葉新協展	4/22 ～ 27	洋画	184
7	第22回カラーダスト展	4/22 ～ 27	洋画	71
8	第34回歩会彫刻展	4/22 ～ 5/6	彫刻	49
9	表美展	4/29 ～ 5/6	日本画・書・立体	63
10	第35回千虹会日本画展	4/29 ～ 5/11	日本画	60
11	第22回千葉水彩展	5/8 ～ 11	洋画	85
12	第32回墨の県展	5/13 ～ 18	洋画・写真	413
13	第48回千葉アマチュア美術会展	5/20 ～ 25	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	1,172
14	第55回千葉県書道協会展	5/27 ～ 6/1	書	463
15	第53回二科会千葉支部展	6/3 ～ 8	洋画	670
16	第34回貌展	6/3 ～ 8	洋画・工芸・写真・立体	43
17	第11回千葉多摩美会展	6/10 ～ 15	日本画・洋画・彫刻・デザイン・工芸・写真・その他	63
18	第31回千葉一陽展	6/10 ～ 15	洋画	93
19	第12回仲間達展	6/10 ～ 15	洋画・立体	76
20	第30回新槐樹社千葉県支部展	6/17 ～ 22	洋画・彫刻	35
21	第17回玄鳥書院展	6/17 ～ 22	書	41
22	第36回水彩連盟千葉支部展	6/24 ～ 29	洋画	173
23	〈明日を拓く〉教育美術展	6/24 ～ 29	洋画	119
24	第31回精鋭展	6/24 ～ 29	洋画	94
25	第52回千葉県小中学校書写展覧会	7/1 ～ 6	書	967
26	第53回千葉二紀展	7/1 ～ 6	洋画・彫刻	89
27	第19回千葉県木彫会展	7/1 ～ 6	彫刻	56
28	第40回千葉市水墨画同好会連合会展	7/8 ～ 21	水墨画	578
29	第37回写真千葉県展	7/23 ～ 8/3	写真	308
30	第40回習美会初夏大作展	7/23 ～ 7/27	日本画・洋画	299
31	第25回千葉県医師会美術展	7/23 ～ 7/27	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真	104
32	第18回太平洋美術会千葉支部展	7/29 ～ 8/3	洋画・彫刻・工芸	184
33	千葉県特別支援学校作品展	7/29 ～ 8/3	洋画・書・写真・立体・その他	421
34	第42回漱雲会全国書道展	7/29 ～ 8/3	書	370
35	第38回いてふ会彫刻展	8/5 ～ 17	彫刻	91
36	第16回三軌会千葉支部展	8/12 ～ 17	洋画・写真	152
37	第5回なの花書道展	8/12 ～ 17	書	157
38	第一美術協会第40回千葉県支部展	8/19 ～ 24	日本画・洋画・彫刻・工芸	138
39	第37回千葉硯心会書展	8/19 ～ 24	書	41
40	第25回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/19 ～ 24	洋画	684
41	第48回白扇書道会展	8/26 ～ 31	書	2,776
42	第5回日本春秋書院千葉書道団展	9/2 ～ 7	書	211
43	第38回新構造千葉支部展	9/2 ～ 7	洋画・工芸・写真	152
44	第33回陽画会油絵展	9/2 ～ 7	洋画	67
45	第46回新世紀千葉支部展	9/9 ～ 15	洋画	56
46	第41回千葉県高等学校総合文化祭合同写真展	9/9 ～ 15	写真	680
47	葉美会展	9/9 ～ 15	日本画・洋画	99

No.	展 覧 会 名	利用期間	展 示 内 容	出品点数
48	等迦会千葉県支部第31回展	9/17 ～ 21	洋画・その他	40
49	第25回記念中央美術協会千葉支部展	9/17 ～ 21	洋画・工芸	185
50	第31回千葉県写真展	9/17 ～ 28	写真	288
51	第58回千葉デザイン展2007	9/23 ～ 28	デザイン	140
52	第55回千葉県勤労者美術展	9/23 ～ 28	日本画・洋画・書・写真	238
53	第19回千葉県教育芸術祭	9/30 ～ 10/5	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	1,066
54	第28回二科会写真部千葉支部展	9/30 ～ 10/5	写真	71
55	第60回千葉県美術展覧会	10/11 ～ 11/3	日本画・洋画・彫刻・工芸・書	2,703
56	第20回千葉県高等学校総合文化祭 「美術工芸書道作品展」	11/6 ～ 16	日本画・洋画・彫刻・デザイン・工芸 ・書・その他	2,740
57	第40回千葉現展	11/18 ～ 24	日本画・洋画・工芸・写真・立体	202
58	第35回文化書道千葉県連合会公募展覧会	11/26 ～ 30	書	357
59	第4回伝統工芸陶葉会展	11/26 ～ 30	工芸	85
60	第53回こども県展 〔平成20年度千葉県児童生徒美術展覧会〕	12/2 ～ 14	絵画	9,422
61	第36回富士百景写真展	1/6 ～ 12	写真	110
62	第44回登龍社書初展	1/6 ～ 12	書	250
63	第5回千葉国際美術展	1/20 ～ 25	日本画・書	125
64	第27回群鷗書人展	1/27 ～ 2/1	書	43
65	第24回書星選抜展	1/27 ～ 2/1	書	219
66	千葉県生涯大学校京葉学園陶友会合同作品展	1/27 ～ 2/1	工芸	230
67	第34回子ども造形展	2/3 ～ 8	洋画・デザイン・立体	1,500
68	千葉大学教育学部美術科図工科卒業制作展	2/10 ～ 15	洋画・彫刻・デザイン・立体	30
69	千葉大学教育学部第43回学生書道展	2/10 ～ 15	書	143
70	第61回千葉県小・中・高校書き初め展覧会	2/10 ～ 15	書	419
71	第15回関東地区高等学校合同写真展	2/10 ～ 15	写真	160
72	千葉日報書道展	2/17 ～ 22	書	497
73	第38回千葉県大学美術連盟展	2/24 ～ 3/1	洋画・立体	70
74	第20回日本童謡の書展	2/24 ～ 3/1	書	2,006
75	第14回翔洋展	3/3 ～ 8	洋画	38
76	第34回千葉県民写真展	3/3 ～ 8	写真	803
77	第32回唱和会書展	3/10 ～ 15	書	43
78	第12回平成美術会展	3/10 ～ 15	洋画	165
79	ダネラ展	3/10 ～ 15	工芸	44
80	第2回蒼騎会 千葉支部展	3/17 ～ 22	洋画	45
81	第56回書星教育部展	3/17 ～ 22	書	895
82	キルトリーダーズ 千葉第7回パッチワークキルト展	3/17 ～ 22	パッチワーク	110
83	千葉水墨画展	3/24 ～ 29	水墨画	149
84	千葉県立幕張総合高等学校書道展	3/24 ～ 29	書	95
				39,000

■施 設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル—先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、珧器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積み上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m~2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロがしみ込んでゆき、目地からの滲透水を防げ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV（定風量型）+VAV（可変風量型）方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こ

ういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収のアクリル拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx（平均）以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx（薄暗）から5,000lx（曇天）の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン（これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した）にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による透過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル（通過率53.6%）と黒地のジョーゼット（通過率35%）の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高200lxに押えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：（株）竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業（株）

衛生＝第一管工事（株）

電気＝関東電気工事（株）

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積	33,057.87㎡
建築面積	8,777.94㎡
延床面積	10,663.57㎡
展示棟	6,343.02㎡

管理棟	2,818.89㎡
県民アトリエ棟	1,501.66㎡
駐車台数	97台

〈工期及び建設経費〉

(1) 第1期工事 (展示棟) 5,194.59㎡
(建築面積5,102.35㎡)

○工 期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費 775,967千円

本体工事 425,230千円

電気設備工事 79,663千円

空調設備工事 166,493千円

給排水衛生設備工事 28,995千円

外溝工事 67,705千円

ガス工事 7,881千円

(2) 第2期工事 (管理棟) 2,274.60㎡
(建築面積1,089.50㎡)

○工 期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費 453,800千円

本体工事 307,500千円

電気設備工事 30,000千円

空調設備工事 79,000千円

給排水衛生設備工事 19,514千円

外溝工事 17,786千円

(3) 第3期工事 (県民アトリエ) 1,501.66㎡
(建築面積1,449.34㎡)

○工 期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費 370,000千円

本体工事 265,300千円

電気設備工事 35,000千円

空調設備工事 56,200千円

給排水衛生設備工事 13,500千円

○工 期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費 8,000千円

外構工事 8,000千円

(4) 第4期工事 (第8展示室1,148.43㎡
収蔵庫544.29㎡) 1,692.72㎡
(建築面積1,136.75㎡)

○工 期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費 747,500千円

本体工事 476,000千円

電気設備工事 81,000千円

空調設備工事 171,000千円

給排水衛生設備工事 19,500千円

総工事費 2,355,267千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL－ 5.00m

高 さ：GL＋15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋 根：鉄骨造

主 鋼 材：SS41及び高張力鋼

コンクリートの種類

A種・普通コンクリート (基礎・地中梁・1階スラブ)

$F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$

B種・軽量コンクリート (梁・スラブ用・地上部)

$F_c = 300 \text{ kg/cm}^2$

C種・軽量コンクリート (地上部躯体でAB以外の梁・壁など) $F_c = 240 \text{ kg/cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受 電 方 式：交流3相3線式6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟＝CAV (定風量型)＋VAV (可変風量型)方式

管理棟＝VAV方式

保管庫＝露点再熱制御方式

県民アトリエ棟＝各室ハンドリング方式

熱 源：空気熱源スクルー熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給 水：ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排 水：汚水・雑排水合流方式系統 (管径300)、雨水系統 (管径300) 別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙 (第1、2、7展示室)

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備 (ハロゲン1301)

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力100kVA

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規 模：容量3,000kg

カゴ内法=3,000mm×3,000mm×3,000mm

速度30m/min

展示棟

玄 関 ホール	102.40㎡
ク ローク	91.80㎡
倉 庫 A	2.70㎡
倉 庫 B	2.70㎡
第 1 展 示 室	437.76㎡
第 2 展 示 室	400.32㎡
第 3 展 示 室	469.08㎡
第 4 展 示 室	403.20㎡
第 5 展 示 室	824.19㎡
第 6 展 示 室	330.58㎡
第 7 展 示 室	566.56㎡
第 8 展 示 室	864.61㎡
食 堂	119.52㎡
厨 房	36.00㎡
従 業 員 控 室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡
ロ ビー	335.52㎡
第 1 休 憩 室	23.04㎡
第 2 休 憩 室	23.04㎡
第 3 休 憩 室	23.04㎡
便 所 A	30.24㎡
便 所 B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工 作 室	31.00㎡
発 電 気 室	25.00㎡
電 気 室	123.20㎡
ポ ン プ 室	76.80㎡
機 械 室	305.20㎡
機械室（新）	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E．V機械室	27.28㎡
E．V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊 下 等	123.48㎡

計 ① 6,343.02㎡

管理棟

(1階)

第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
消毒室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包室	52.67㎡
荷扱人室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡

小計 1,183.85㎡

(2階)

館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
器材室	6.74㎡
暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E.V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室A	3.24㎡
〃B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
ダクト・スその他	3.56㎡

小計 1,635.04㎡

計 ② 2,818.89㎡

県民アトリエ棟

1F機械室	25.92㎡
講堂倉庫	8.64㎡
講堂	259.24㎡
コントロール室	30.33㎡
ホール側便所	29.97㎡
情報資料室	172.77㎡
情報資料室倉庫	4.70㎡
事務室	22.76㎡
研修室	74.70㎡
研修室倉庫	4.23㎡
第1アトリエ	155.70㎡
第2アトリエ	184.31㎡
第3アトリエ	95.47㎡
アトリエ側便所	20.77㎡
荷解室	25.65㎡
窯場	27.17㎡
窯場倉庫	6.66㎡
ホールその他	352.67㎡

計 ③ 1,501.66㎡

合計 10,663.57㎡

(①+②+③)

〈参考〉

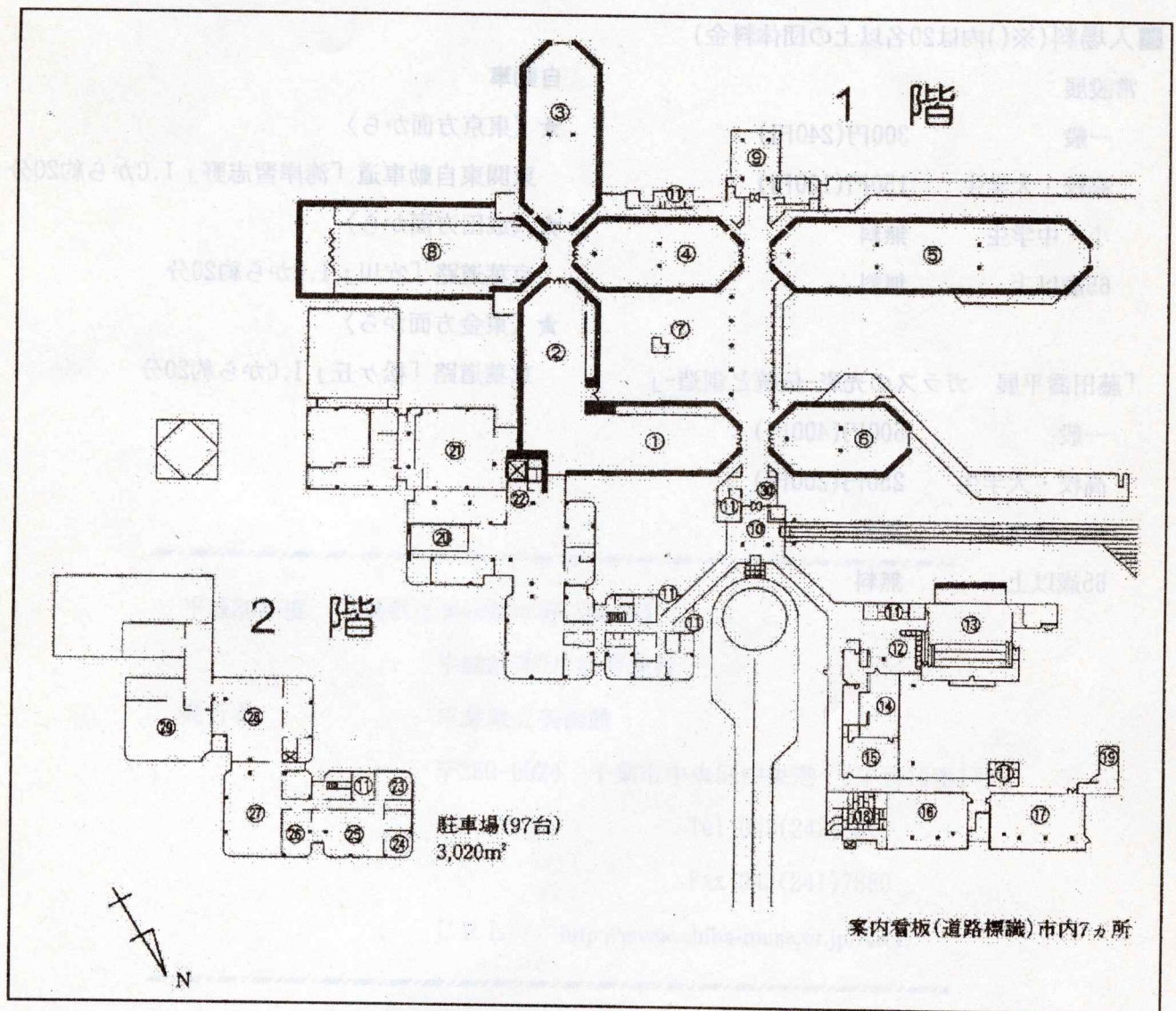
*展示室総面積 4,296.30㎡

*収蔵庫総面積 771.50㎡

内 容

- ① ～ ⑧ 展示室
- ⑨ 食堂 (44席)
- ⑩ 玄関ホール
- ⑪ トイレ
男子用 6ヶ所
女子用 6ヶ所
身障者用 2ヶ所
- ⑫ ホール
- ⑬ 講堂 (200人)
- ⑭ 情報資料室
- ⑮ 研修室 (40人)

- ⑯ ～ ⑰ 実技室
- ⑱ 窯場
- ⑳ 搬出入口
- ㉑ 機械室
- ㉒ エレベーター
- ㉓ 館長室
- ㉔ 副館長室
- ㉕ 庶務課
- ㉖ 会議室
- ㉗ 学芸課・普及課
- ㉘ 研究工作室
- ㉙ 収蔵庫
- ㉚ ミュージアムショップ



■平成20年度利用案内

■開館時間

開館時間

午前9時から午後4時30分

休館日

- ・月曜日(ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)
- ・10月10日～12日、23・24日、11月6日

■入場料(※()内は20名以上の団体料金)

常設展

一般	300円(240円)
高校・大学生	150円(120円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

「藤田喬平展 ガラスの光彩-伝統と創造-」

一般	500円(400円)
高校・大学生	250円(200円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

■交通

電車・モノレール・バス

★JR(京葉線)・千葉都市モノレール

「千葉みなと」駅下車、徒歩8分

★JR「千葉」駅・京成線「京成千葉」駅下車

●徒歩23分

●バス⑫番乗り場から「千葉ポートタワー」行にて15分。「美術館・中央郵便局」下車、徒歩1分

自動車

★〈東京方面から〉

東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分

★〈成田方面から〉

京葉道路「穴川」I.Cから約20分

★〈東金方面から〉

京葉道路「松ヶ丘」I.Cから約20分

平成20年度 千葉県立美術館年報 (No.35)

平成21年7月15日発行

発行者

千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港 1丁目10番1号

Tel 043(242)8311

Fax 043(241)7880

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

